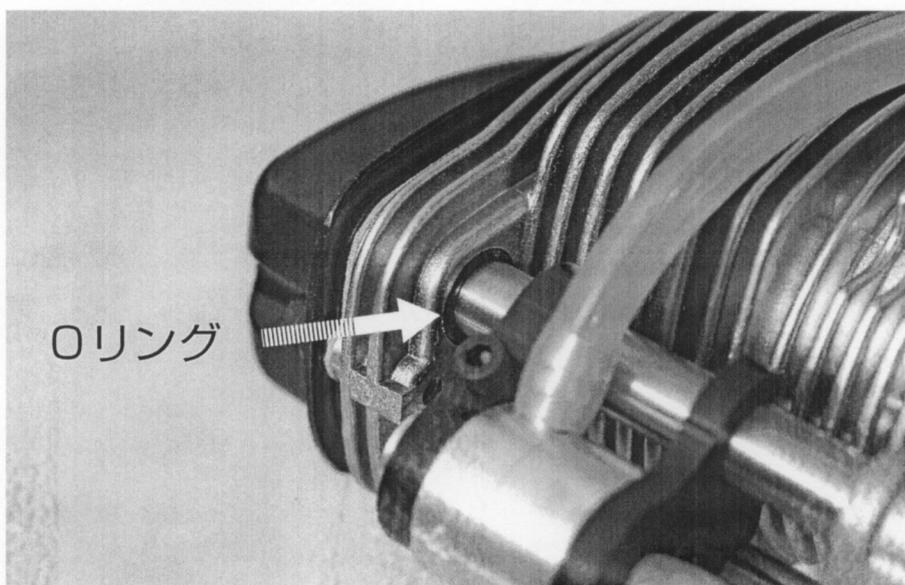


ください。今まで調子が良かったのに、訳がわからなくエンジンが止まってしまう場合は、プラグを新品に交換しましょう。白金プラグは触媒の働きもあるので、コイル表面に異物が付着すると赤熱を阻害するようです。特にシリコン系のオイルや錆留めの類は一切挿さないように気をつけましょう。ニードルが適正であれば、スローが濃いか薄いかしかありません。いったんハイにしてニードルを調整して、スローにして機体を持ち上げて左右、上下、背面など、いろんな姿勢で保持して、回転が変化しないようにスローを調整して下さい。

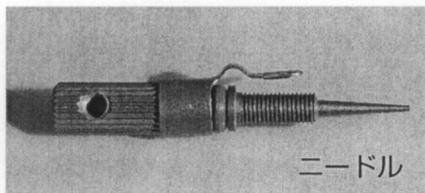
Q. スローを濃くしても薄い状態になり、キャブを全閉にしても止まらない。

A. どこかでエアーを吸ってます。主にヘッドカバーのパッキンが悪くなった時に起こる現象です。ブッシュロッドカバー（前に付いているパイプ）の端のリングがずれてませんか？ または切れてませんか？ またはキャブのどこかでエアーを吸ってませんか？ レギュレーターを閉めすぎて極端に薄くしてません

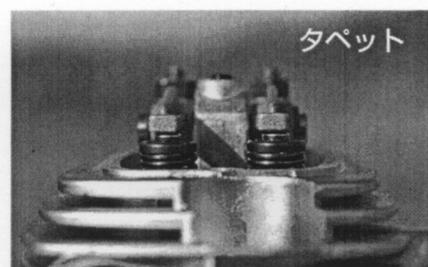


か？（出荷時に調整してありますのでさわらないで下さい）。分からなければ、メーカーに調整に出して下さい。

Q. ニードルに位置がどんどん変化してしまいます。



A. ニードルの針は微妙な燃料の量を調整しますので、全閉の位置を確認するのに「力いっぱい絞めない」で下さい。ニードルの針の先に段がついたり、ニードルソケットの穴が大きくなってしまい、ニードルが絞まった位置によってピークが出たり、または敏感になったりします。ニードルの針先が正常の場合、その他に考えられるのは「タペットクリアランス」が変化している可能性があります。タペットを調整して下さい。また、圧縮が漏れている場合（プラグの緩みやヘッドの緩み、漏れなど）も、ニードルを絞らないとパワーが出ません。この場合、燃料が漏れますので、漏れるところを発見して下さい。



Q. スローを薄くしても濃くなって止まる、キャブから燃料がダラダラと漏れてしまう。

A. 逆止弁がきちんと働いてますか？ 息で吹いてみて一方通行になっていますか？ 止まった感じが瞬時にカチッとしてますか？ タイムラグがあると良くありません。またはレギュレーターが開きすぎて燃料が止まらないことはないですか？（エンジンが停止中は燃料が止まる）。レギュレーター内のゴミなどで止まらないことがあります。

Q. エンジンはそのように調子悪くないけど、燃料でベタベタになる。

A. YSエンジンは燃料タンクに圧力をかけるので、少しのパイプの穴や亀裂で燃料が漏れてしまいベタベタになります。燃料パイプ、燃料フィルター、逆止弁、掃気管のOリングなど点検して下さい。特にクランクケースの下の部分が濡れる場合は、キャブ、リヤディスク、レギュレーターのネジの緩み、欠落、パ